

公益財団法人愛知県文化振興事業団

令和 7 年度事業計画

令和7年度事業方針	5
I 自主事業の企画制作	
1 質の高い世界的なダンス作品の創造・招聘・発信	7
つくる みる	
(1) 世界的なダンス・カンパニーの招聘上演	7
(2) 劇場ダンスアーティストによる創作・上演・海外での再演	8
2 実験的で多様な舞台芸術作品の企画・上演	9
つくる みる	
3 パイプオルガンを活かした公演・人材育成・普及教育事業	10
みる ひろげる そだてる・つなぐ	
4 あらゆる人に芸術の豊かさを体験する機会を提供	12
つくる ひろげる	
(1) 様々な方々が劇場に足を運び芸術と出会う体験型事業	12
(2) 小～高校生招待鑑賞「劇場と子ども7万人プロジェクト」	13
5 地域文化力の向上	14
ひろげる そだてる・つなぐ みる	
(1) 国内/地域の劇場や民間事業者との連携による公演事業	14
(2) 人材養成事業	15
6 地域社会の課題解決に向けた取り組み	16
ひろげる そだてる・つなぐ	
II 広報等、連携・交流	
1 広報等	17
(1) 広報	17
(2) 販売促進	17
(3) 賛助会員制度	17
(4) 調査・研究	17
2 他団体との連携・交流	17
(1) 海外芸術交流事業	17
(2) 圏域の公立文化施設とのつながり	17
(3) 職員の派遣	17

Ⅲ 愛知芸術文化センターの管理・運営	
1 芸術劇場及びアートスペース	18
2 アートプラザ	18
3 愛知芸術文化センター全体	18
(1) 施設管理	18
(2) 防火・防災	18
(3) 芸文センターの活性化	18
Ⅳ 収益事業	
1 ミュージアムショップ	19
2 プレイガイド	19

令和7年度事業方針

公益財団法人愛知県文化振興事業団（以下「事業団」という。）は、平成4年に設立以来、個性豊かな地域文化の振興を図り世界に開かれた魅力ある愛知づくりに寄与するため、愛知県や文化芸術関係機関・団体等との連携の下、各種の文化芸術事業を実施しています。

また、愛知芸術文化センターの指定管理者として、芸文センター全体の施設管理や、愛知県芸術劇場等の運営を行っています。

自主事業については、2024年度から2026年度までの芸術文化事業の展開として、次の事業に重点を置いて、様々なプロジェクトを推進してまいります。

- 1 愛知県芸術劇場における30年の経験を活かし、質の高い世界的なダンス作品の創造・招聘・発信を行う。
【つくる】【みる】
- 2 実験的で多様な舞台芸術作品の企画・上演を行う。
【つくる】【みる】
- 3 パイプオルガンを活かして、公演・人材育成・普及教育事業を行い、オルガン事業を更に充実させる。
【みる】【ひろげる】【そだてる・つなぐ】
- 4 あらゆる人に、芸術の豊かさを、手軽に体験し、触発される機会を提供、観客層の拡大につなげる。
【つくる】【ひろげる】
- 5 市町村劇場や民間事業者と連携して公演事業や人材養成事業を実施し、地域全体の文化力を向上させる。
【ひろげる】【そだてる・つなぐ】【みる】
- 6 地域社会の課題解決に向けた取り組みに貢献する。
【ひろげる】【そだてる・つなぐ】

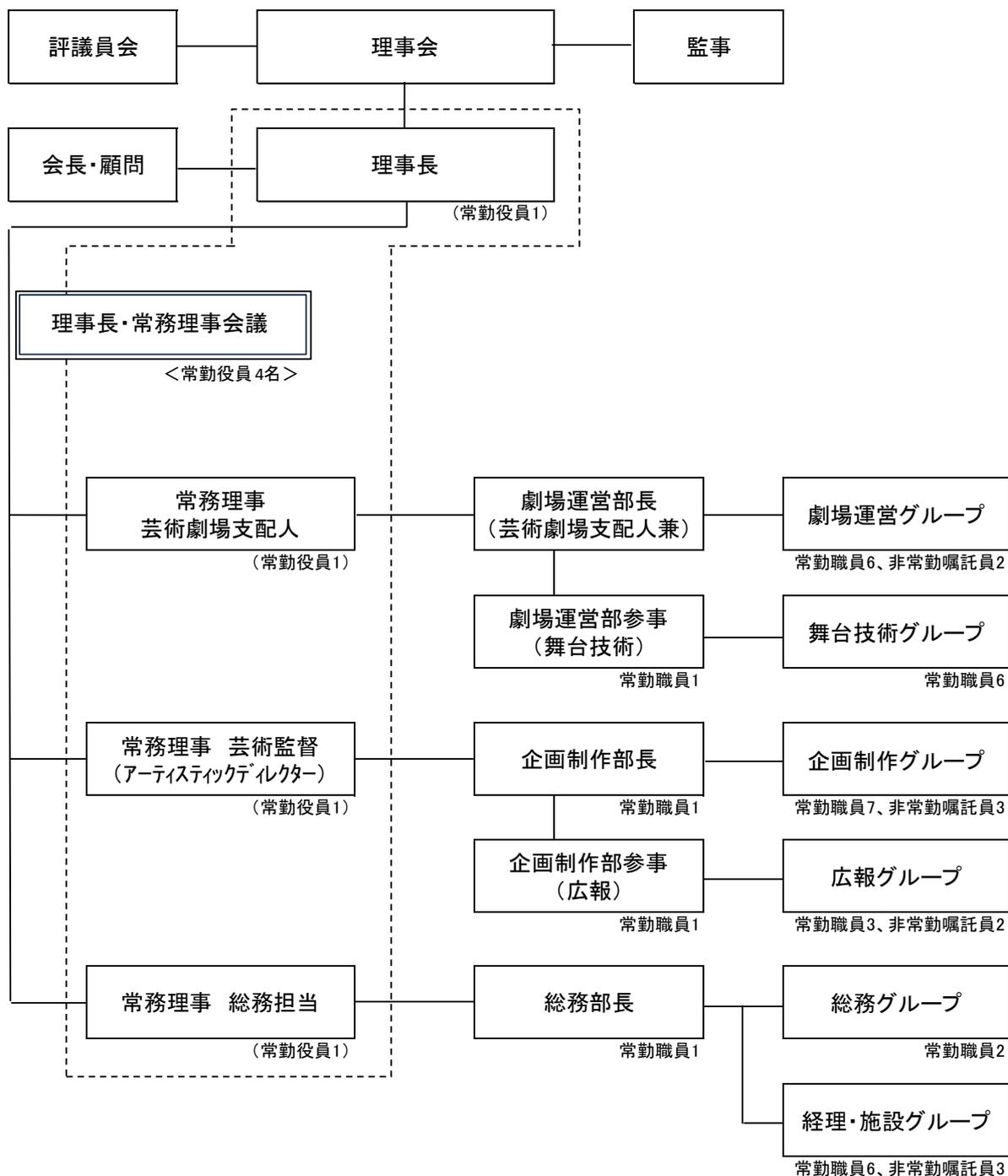
事業団が実施する自主事業につきましては、地元企業様をはじめ、様々な団体・個人からの御協力をいただいておりますが、令和3年度からは新たに賛助会員制度を立ち上げ、文化振興を通じての地元企業様等とのさらなる関係強化を目指しております。今後とも当制度を継続実施し、関係強化を図ってまいります。

また、芸文センターの管理運営では、引き続き、お客様・ご利用者様の目線に立ち、安心・安全かつ快適な環境づくりとサービスの向上に努めてまいります。

さらに、芸術劇場及びアートスペースの利用サービス向上を図るため導入した、附属設備及び延長利用料金の後納やキャッシュレス決済の活用、申請手続き及び利用条件の緩和等に向けた取り組みを継続・推進してまいります。

●組織体制

(1) 令和7年度組織体制(4月1日現在)



(2) 職員数

常勤役員	4名
職員	34名
嘱託員	10名
計	48名

I 自主事業の企画制作

全国トップクラスの機能を備えた劇場を活用し、適正な劇場マネジメントにより国内外の優れた舞台芸術を鑑賞する場を幅広く提供いたします。

また、上質な舞台芸術公演や先駆的・実験的な作品を提供するという芸術的方针に従い、国際的なレベルの創造性・発信性に満ちた多彩な舞台芸術公演を行うとともに、舞台芸術を担う人材の養成や、小学生から18歳までの子どもを劇場に招待する「劇場と子ども7万人プロジェクト」をはじめとする普及啓発などに取り組みます。

さらに、県内外（国外含む）の劇場との連携によるツアー公演などを展開して地域文化の振興を図るほか、障がいのある方や在住外国人など劇場に来場しづらい方向けのワークショップ等を開催するなど、社会課題の解決に向けた取組みも実施いたします。

1 質の高い世界的なダンス作品の創造・招聘・発信

つくる **みる**

愛知県芸術劇場における30年の経験を活かし、劇場ダンスアーティストによる創作・上演・海外での再演や、世界的なダンス・カンパニーの招聘上演など、質の高い世界的なダンス作品の創造・招聘・発信を行います。

(1) 世界的なダンス・カンパニーの招聘上演

事業名	開催日	会場
	事業概要	
公演 アクラム・カーン 『ジャングル・ブック』	6月28日(土) (1公演)	大ホール
	ロンドン五輪開会式(2012年)で振付を担った世界的振付家アクラム・カーンによるアニメーション×ダンスの公演。人間と動物、気候変動、生き物の多様性など、子どもから大人まで世代を超えて感じ取っていただきたいメッセージの詰まった作品です。	
公演 ヒューストン・バレエ ①「オープニング・ガラ」 ②「ジゼル」	①7月10日(木)、 ②12日(土) (2公演)	大ホール
	2022年に待望の初来日を果たしたバレエカンパニーが愛知に初登場します。豊富なレパートリーの中から、半世紀以上にわたり培われてきた創設期の作品を上演。名古屋出身でバレエ団のトップバレエ・ダンサーの加治屋百合子も出演します。	
公演 「バレエ・ミューズ」公演	11月5日(水) (1公演)	大ホール
	世界各国の名門バレエカンパニーより、今観ておきたい注目の若手/旬のダンサーが総出演するガラ公演を開催します。	

事業名	開催日	会場
	事業概要	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">公演</div> NDT（ネザーランド・ダンス・シアター）2	11月24日（月・休） （1公演）	大ホール
	オランダを拠点に60年以上にわたり世界で上演を続けるコンテンポラリーバレエカンパニーNDT。令和6年度に約5年ぶりに来日し、群馬・神奈川・愛知の各地で多彩なプログラムにより熱狂を巻き起こしたNDT1に続き、NDT2による公演を開催します。	

(2) 劇場ダンスアーティストによる創作・上演・海外での再演

事業名	開催日	会場
	事業概要	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">人材育成・公演</div> Constellation～世界をつなげる愛知県芸術劇場ダンスプロジェクト～	通年	小ホール、 リハーサル室 他
	島地保武・酒井はな・三東瑠璃・Null（ヌル）を、劇場ダンスアーティストと位置づけ、彼らによる作品の創作活動・上演・発信を通し、舞踊家（ダンサー・振付家）を中心にダンス作品の創作に関わる人材を育成します。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">公演</div> 島地保武×環 ROY『ありか』 香港公演	4月4日（金）、 5日（土） （2公演）	大館（TAI KWUN）
	平成28年に愛知県芸術劇場プロデュースで制作し、平成29年に県内外5箇所10公演、令和元年度に横浜、富山、パリ、令和6年に北九州と山形で上演した、ダンサーの島地保武とラッパーの環 ROY の共同制作作品を香港で上演します。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">公演</div> 高槻城公園芸術文化劇場×愛知県芸術劇場×Dance Base Yokohama パフォーミングアーツ・セレクション2025 in Takatsuki	4月26日（土）、 27日（日） （2公演）	高槻城公園芸術文化劇場 （大阪府）
	国際的に活躍するアーティストが社会に問いかけ、身体表現の新たな可能性に挑むダンスプログラム。岡田利規（演出）と酒井はな（ダンス）が、古典バレエの名作『ジゼル』をYouTuberとして披露する作品と、島地保武（ダンス）と環 ROY（ラップ）による「哲学的コント」とも呼べる作品を再演します。	

2 実験的で多様な舞台芸術作品の企画・上演

つくる みる

日本を代表するダンスアーティストたちによるジャンル横断型舞台作品などの創作初演を行うとともに、Dance Base Yokohama との連携や、公募プログラムなど、多彩なラインナップをお届けします。

事業名	開催日	会場
	事業概要	
<p>人材育成</p> <p>公募プログラム AICHI NEXT: Performing Arts Project ①「Challenge stage」 ②③「Advance stage」</p>	<p>①8月15日(金) (6公演) ②8月15日(金) 16日(土) (2公演) ③10月25日(土) 26日(日) (2公演)</p>	<p>①愛知芸術文化センター オープンスペース ②小ホール ③大リハーサル室</p>
	<p>新しい人材・才能を公募により発掘し、舞台作品を上演する実演団体やアーティストを支援するプロジェクト。「Challenge stage」では、東海圏にゆかりのある若手アーティストが、「Advance stage」では、全国から公募した次代を担うアーティストが作品を上演します。</p>	
<p>公演</p> <p>ダンス兼演劇作品 『ダンスの審査員のダンス』</p>	<p>9月19日(金)～ 21日(日) (3公演)</p>	<p>小ホール</p>
	<p>現代演劇の最前線に立ち、海外でも高い評価を受けている演劇作家の岡田利規が手掛ける演劇とダンスの新作。国内外で活躍する注目のダンサー、俳優、気鋭の音楽家や舞台美術家が出たジャンルを越えたコラボレーションプロジェクトです。愛知県芸術劇場の唐津絵理が統括プロデューサーを務めます。当劇場での初演後、国内4会場で上演します。</p>	
<p>公演</p> <p>ダンスフェスティバルあいち（仮称） 愛知県芸術劇場×Dance Base Yokohama パフォーミングアーツ・セレクション 2025 ほか</p>	<p>11月</p>	<p>小ホール 他</p>
	<p>プロフェッショナルなダンス環境の整備とクリエイター育成を行う Dance Base Yokohama (DaBY) と共同制作した新作を上演。今回は初めてメニコンシアターAoi との連携により、複数の会場で同時に上演することで、フェスティバルとして開催します。</p>	
<p>公演</p> <p>第22回AAF戯曲賞受賞記念公演 『とりで』</p>	<p>12月19日(金)～ 21日(日) (3公演)</p>	<p>小ホール</p>
	<p>上演を前提にしたAAF戯曲賞の受賞作品を舞台化。村社祐太郎による「陸の孤島」と呼ばれる住宅地の空気と家庭での会話が描かれる作品です。演出は名古屋の小劇場を中心に活動する澄井葵と、演劇を広義に捉えた活動を各地で行う羽鳥嘉郎が務め、同戯曲賞公演としては初めて、2人の演出家が異なる視点でそれぞれ作品を演出します。</p>	

事業名	開催日	会場
	事業概要	
公演 ピアノ・ツィルクス～5台ピアノの世界 in 愛知県芸術劇場	3月7日(土) (1公演)	コンサートホール
	スタインウェイ、ベーゼンドルファー、ヤマハのフル・コンサート・グランドピアノ計5台がステージ上に並ぶコンサート。白石光隆と田村緑、中川賢一、デュエットウカナえ&ゆかりという手練れのピアニストたちがフル・オーケストラを凌駕するほどの轟音と美しく繊細な音色を奏でます。現代曲も含めたプログラムです。	

3 パイプオルガンを活かした公演・人材育成・普及教育事業

みる ひろげる そだてる・つなぐ

初心者からコアファンまで多様な観客に向けた特徴あるオルガン・コンサートを行うとともに、若手のオルガニスト養成事業を継続して実施し、オルガン事業を更に充実させます。

事業名	開催日	会場
	事業概要	
普及啓発 THE オルガン NIGHT&DAY 2025	5月2日(金)、 3(土・祝) (3公演)	コンサートホール
	「短めのプログラム」、「出かけやすい時間」、「ワンコイン」と、“手軽さ”を追求した10年以上続くパイプオルガンのコンサート。今回はクラシックやジャズなど、多彩なレパートリーと音楽知識に定評のあるオルガニスト山口綾規が出演し、耳馴染みのある名曲や、子どもに人気の曲を演奏します。	
公演 オルガン・レクチャーコンサート	8月27日(水) (1公演)	コンサートホール
	映像と解説を交えた初級者向けのコンサート。今回は、愛知県芸術劇場オルガニストの都築由理江が出演します。日頃から当劇場のオルガンの弾き込みや企画に携わる都築ならではの視点や知識を用いて、オルガンのことをもっと知りたい人に向けた演奏・解説を行います。	
公演 オルガン・アワー ～音のシャワーで心リフレッシュ～	10月30日(木) (2公演)	コンサートホール
	パイプオルガン初級者から中級者へのステップアップにつながる、数々の名曲とともにオルガンの魅力を約1時間でお届けするコンサート。演奏は、2024年に松本市音楽文化ホールのホールオルガニストに就任した山田由希子。数々の国際的なコンクールで入賞を果たし、ヨーロッパやアジアの15か国以上で演奏会を行った実績あるオルガン演奏を披露します。	

事業名	開催日	会場
	事業概要	
<p>普及啓発（学校招待公演）</p> <p>愛知県芸術劇場 舞台芸術鑑賞教室 2025 絵本×朗読×パイプオルガン 『終わらない夜』</p>	11月12日(水) (2公演)	コンサートホール
	<p>カナダのトリックアート画家が手がけた絵本をもとに、当劇場が創作したオルガンプログラム。絵本を映像投影しながら、本コンサートのために作曲されたオリジナルのオルガン曲を中心にお届けする1時間のコンサート。演奏は国内で広く活躍する勝山雅世、朗読は女優の藤井咲有里です。</p> <p>県内小学校6年生～高校3年生を対象に、学校または学年単位で募集します。</p>	
<p>公演</p> <p>クリスマスはオルガンだ！2025</p>	12月24日(水)、 25日(木) (2公演)	コンサートホール
	<p>華やかな冬の音楽と本格的なクラシックを堪能いただけるコンサート。東京芸術劇場のオルガニストとして約30年にわたりオルガン本来の魅力が伝わる音楽を紹介することに注力し、現在は同劇場でオルガン・アドバイザーを務める小林英之が演奏します。奏者の手元や足元を大型スクリーンに投影する演出にもご注目ください。</p>	
<p>人材育成</p> <p>オルガニスト養成</p>	通年	コンサートホール
	<p>将来、この地域からオルガニストが誕生するきっかけになることを目指して、2018年度からスタートした講座。愛知県芸術劇場オルガニストが、コンサートホールの大オルガンを使って、オルガン演奏の基礎をじっくりと個別指導します。</p>	

4 あらゆる人に芸術の豊かさを体験する機会を提供

つくる ひろげる

芸術の豊かさを手軽に体験し、触発される機会を提供することで、観客層の拡大につなげます。また、小学生から高校生までの子どもたちを招待し、一流の作品に触れる機会を創出する「劇場と子ども7万人プロジェクト」を継続して実施します。

(1) 様々な方々が劇場に足を運び芸術と出会う体験型事業

事業名	開催日	会場
	事業概要	
普及啓発 愛知県芸術劇場オープンハウス	4月29日(火・祝)	大ホール、小ホール
	劇場を一日無料開放して、舞台や客席、ビュッフェ等、本格的なバレエやオペラが上演可能な日本初の本格的なオペラシアターを自由に見学いただけます。	
普及啓発 赤ちゃんと踊ろう	5月25日(日)、 26日(月) (4回)	大リハーサル室
	赤ちゃんと一緒に踊りながら、パパ・ママ同士も交流できるダンスワークショップ。抱っこやおんぶをしながらリズムに合わせて踊ったり、ストレッチしたりして、身体も心もリフレッシュできます。	
普及啓発 CLUB ORIGAMI (クラブ オリガミ)	7月23日(水)、 24日(木) (3公演)	小ホール (県内ツアーあり)
	子どもから大人までが楽しめる折り紙をモチーフにした参加型パフォーマンス。巨大な紙を使って、丸めたり、ビリビリ破いたりしながら、ファッション・ダンス・生演奏が一体となったパフォーマンスをお楽しみください。	
人材育成 【再掲】 公募プログラム AICHI NEXT: Performing Arts Project 「Challenge stage」	8月15日(金) (6公演)	愛知芸術文化センター オープンスペース
普及啓発 げきじょうたんけんツアー	8月21日(木) (4回)	大ホール
	普段は見るできない劇場の裏側を見学できるバックステージツアー。ジョニー隊長とジョニー子副隊長(いずれも劇場スタッフ)と一緒に、劇場の裏側を探る体験学習です。2,480席を誇る中京圏最大級の大ホールで開催します。	
普及啓発 普及啓発プログラム	舞台芸術について理解を深め、より楽しんでいただける講座やワークショップを開催します。	

(2) 小～高校生招待鑑賞「劇場と子ども7万人プロジェクト」

事業名		開催日	会場
		事業概要	
普及啓発（学校招待公演） 【再掲】 愛知県芸術劇場 舞台芸術鑑賞教室 2025 絵本×朗読×パイプオルガン 『終わらない夜』		11月12日(水) (2公演)	コンサートホール
普及啓発（学校招待公演） 愛知県芸術劇場舞台芸術鑑賞教室 2025 ニッセイ名作シリーズ 2025 舞台版『せかいいちのねこ』		1月28日(水) (2公演)	大ホール
		画家ヒグチユウコの心温まる絵本を舞台化。本物の猫になりたいと願うぬいぐるみが、旅先で出会う猫たちの優しさに触れながら幸せを見つけます。表情豊かな人形とダンサーたちが、絵本の優しく切ない世界を描きます。 県内小学校3年生～6年生を対象に、学校または学年単位で募集します。	
個人単位で招待	普及啓発 アクラム・カーン 『ジャングル・ブック』	6月28日(土) (1公演)	大ホール
	【再掲】 オルガン・レクチャーコンサート	8月27日(水) (1公演)	コンサートホール
	ダンス兼演劇作品 『ダンスの審査員のダンス』	9月19日(金)～ 21日(日) (3公演)	小ホール
	オルガン・アワー ～音のシャワーで心リフレッシュ～	10月30日(木) (2公演)	コンサートホール
	NDT（ネザーランド・ダンス・シアター）？	11月24日(月・祝) (1公演)	大ホール
	第22回AAF戯曲賞受賞記念公演 『とりで』	12月19日(金)～ 21日(日) (3公演)	小ホール
	クリスマスはオルガンだ！2025	12月24日(水)、 25日(木) (2公演)	コンサートホール
	ピアノ・ツィルクス～5台ピアノの世界 in 愛知県芸術劇場	3月7日(土) (1公演)	コンサートホール

5 地域文化力の向上

ひろげる **そだてる・つなぐ** **みる**

市町村劇場と連携した県内ツアーや、民間事業者との芸術性・話題性の高い連携公演を行うとともに、インターンシップ等でスタッフ人材養成事業を実施し、地域全体の文化力を向上させます。

(1) 国内/地域の劇場や民間事業者との連携による公演事業

事業名	開催日	会場
	事業概要	
普及啓発 【再掲】 CLUB ORIGAMI (クラブ オリガミ)	7月23日(水)、 24日(木) (3公演)	小ホール (県内ツアーあり)
公演 東京二期会オペラ劇場 『イオランタ／くるみ割り人形』 日本語字幕付原語(ロシア語)上演 <新制作>	7月26日(土) (1公演)	大ホール
	1953年の発足以来、古典から現代に至るまで世界のオペラを上演し続けてきた東京二期会による公演。今回は、チャイコフスキーが手掛けたオペラと、バレエの傑作が融合した新しい舞台作品を上演します。	
公演 愛知4大オーケストラ・フェスティバル 2025『ブラームス 交響曲全曲演奏会』	8月31日(日) (1公演)	コンサートホール
	愛知を拠点に活動する愛知室内オーケストラ、セントラル愛知交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団の4団体が当劇場コンサートホールに会するスペシャルコンサート。各音楽監督・芸術監督とともにブラームスの交響曲全曲を演奏します。	
公演 第46回中部バレエフェスティバル 『眠れる森の美女』 (全3幕プロローグ付き)	10月5日(日) (1公演)	大ホール
	古典バレエの名作を地元のバレエ団と創り上げるダンス公演。振付はバーミンガム・ロイヤル・バレエ団(英国)のソリストとして活躍した山本康介です。持ち前のエネルギーで豊富なアイデアを活かしながら、オーディションで選ばれたダンサーたちと舞台を創り上げます。	
公演 八木美知依 箏の世界 音と声	11月3日(月・祝) (1公演)	小ホール
	ハイパー箏奏者、八木美知依による箏の新しい世界。特別ゲストに名古屋市出身の俳優、竹下景子を迎えて、後半は箏と朗読をお届けします。	
公演 愛知県立芸術大学管弦楽団 第36回定期演奏会	11月22日(土) (1公演)	コンサートホール
	東海地方唯一の公立芸術大学オーケストラによる定期演奏会。指揮は、バルセロナ交響楽団音楽監督を務めた実績を持ち、現在は大阪フィルハーモニー交響楽団桂冠指揮者、ハノーファー北ドイツ放送フィルハーモニー名誉指揮者の大植英次です。	

事業名	開催日	会場
	事業概要	
公演 Arpa Doppia × Contemporary Music (仮)	12月6日(土) (1公演)	小ホール
	16世紀末に登場したクロマティックハーブ「アルパ・ドッピア」という楽器を使って、当時ポピュラーだったマドリガルやシャンソンといった歌曲と、それに呼応するように現代作曲家が作曲した作品を演奏します。	
公演 藤原歌劇団公演 プッチーニ作曲『妖精ヴィッリ』 (オペラ全2幕) マスカーニ作曲『カヴァレリア・ルスティカーナ』 (オペラ全1幕) 〈字幕付き原語上演〉 ニュープロダクション	2月7日(土) (1公演)	大ホール
	日本で最も歴史のあるオペラ団体の愛知公演。今回は、2人のイタリアの作曲家によるオペラを上演します。演目はプッチーニが初めて作曲したオペラで、1986年に藤原歌劇団が日本初演した『妖精ヴィッリ』と、マスカーニが作曲したヴェリズモ・オペラ(庶民の日常生活で起こる事件等をテーマとしたオペラ)の代表作とも言える『カヴァレリア・ルスティカーナ』をダブル・ビルでお届けします。	
公演 META XENAKIS - PSAPPHA 加藤訓子(パーカッション) × 中村恩恵(ダンス)	3月25日(水) (1公演)	小ホール
	愛知県出身の加藤訓子(パーカッション)と、中村恩恵(ダンス)が現代音楽の作曲家クセナキスの初期打楽器ソロ作品「PSAPPHA(プサッファ)」に挑みます。古代ギリシアの女性詩人サッフォーの視点から生まれる感情や経験から着想を得た2名の女性アーティストが創り上げる音楽の情景に詩的叙事詩、身体が交錯する世界をお楽しみください。	

(2) 人材養成事業

事業名	開催日	会場
	事業概要	
人材育成 舞台芸術人材養成ラボ	通年	アトスペース 他
	学生インターンシップや劇場職員セミナーなど、人材養成プログラムを系統立てて実施します。	
人材育成 ダンサー養成事業	通年	リハーサル室 他
	ダンサー養成のためのワークショップなどを実施します。	

事業名	開催日	会場
	事業概要	
人材育成 【再掲】 オルガニスト養成	通年	コンサートホール
人材育成 【再掲】 公募プログラム AICHI NEXT: Performing Arts Project ①「Challenge stage」 ②③「Advance stage」	①8月15日(金) (6公演) ②8月15日(金) 16日(土) (2公演) ③10月25日(土) 26日(日) (2公演)	①愛知芸術文化センター オープンスペース ②小ホール ③大リハーサル室
人材育成 第23回 AAF 戯曲賞募集・選考	募集開始：6月 最終審査会：2026 年4月(予定)	アールスペース 他
	2000年から続く「上演を前提とした戯曲賞」 です。大賞受賞作品は、次年度以降に当劇場の プロデュース公演として上演します。	

6 地域社会の課題解決に向けた取り組み

ひろげる そだてる・つなぐ

舞台芸術の特徴を活かし、コミュニケーションを重視したプログラムを通して交流することで、地域力の向上に貢献します。

事業名	開催日	会場
	事業概要	
普及啓発 【再掲】 赤ちゃんと踊ろう	5月25日(日)、 26日(月) (4回)	大リハーサル室
普及啓発 多文化共生ワークショップ	日本語を母語としない人にも舞台芸術を楽しむ、舞台芸術の力を通じて交流を深めていただくために、子どもと一緒に楽しめるワークショップ等を開催します。	
普及啓発 障がい者及び劇場に来づらい人のためのサポート	多くのお客様に舞台芸術を楽しんでいただけるよう、一部の公演で、障がいのある方を対象に観劇・鑑賞のためのサポートを行います。	
普及啓発 栄北まちなか展開連携事業	ダンスなど、アートの力によって、地域の団体同士の交流を活発化させ、地域の活性化及びイメージアップにつなげます。	

Ⅱ 広報等、連携・交流

1 広報等

(1) 広報

芸文センターが実施する芸術文化事業を中心に、情報紙「AAC journal」及び情報サイト「AAC タイム」、芸文センターウェブサイトや SNS などの各種媒体を通じて、芸術文化に関連する情報を提供します。

○情報紙「AAC journal」の発行及び情報サイト「AAC タイム」の運営

芸文センターが実施する芸術文化事業の紹介や地域の芸術文化に関する情報等を掲載した情報紙の発行及び情報サイトの運営を行い、芸文センターの認知度・理解度の向上を図ります。

情報紙：芸術ファンに向けた内容を掲載し、県内外の劇場・ホール、美術館、図書館、その他公共施設、民間商業施設等に配布。

情報サイト：芸術ビギナーに向けた内容を配信し、SNS による周知・拡散を行う。

○情報発信

芸文センターウェブサイトをはじめとして、Facebook・X (旧 Twitter) などの SNS、YouTube といった各種の媒体や仕組みの特性を生かし、劇場主催公演をはじめとした各イベントの情報を分かりやすくタイムリーに提供します。また、中部芸術文化記者クラブの事務局を担い、県内外の美術館等の情報発信を支援します。

(2) 販売促進

愛知県芸術劇場主催公演等について、オンラインチケットシステムや充実した特典を備えた会員制度の「愛知県芸術劇場メンバーズ」により、利便性の向上や収益の増加を図ります。

(3) 賛助会員制度

愛知県芸術劇場主催公演等について支援をいただくことにより、地域の企業等との関係を強化するとともに圏域の文化芸術のさらなる創造・発信につなげるため、ホームページへの掲載・パンフレットの配布の他、訪問によるご案内等を通じて賛助会員数の拡大を図ってまいります。

(4) 調査・研究

劇場及びアートスペース利用者を対象とした満足度調査を実施し、ハード・ソフト両面における劇場等のニーズや課題を把握し、施設利用サービスのさらなる改善に努めます。また、自主事業の際には来場者アンケートを実施し、事業に対する評価や来場者属性を把握・分析し、自主事業の企画制作に反映させていきます。

2 他団体との連携・交流

(1) 海外芸術交流事業

「AAPPAC」(アジア太平洋パフォーミングアーツセンター連盟)に引き続き加盟し、海外の劇場関係者との情報交換や人的交流、及び芸文センターの認知度向上を図ります。

(2) 圏域の公立文化施設とのつながり

全国公立文化施設協会東海北陸支部及び愛知県公立文化施設協議会の事務局となり、地域の公立文化施設職員の知識・技術向上や情報共有を図るため、実務研修等を開催します。こうした人材養成の取り組みを足がかりに、愛知県内の劇場の強いネットワークを活かし、連携公演の実施や人材養成セミナーの開催など、様々な形での劇場間の連携を深めていきます。

(3) 職員の派遣

市町村や大学、他団体等に専門性の高い職員を派遣し、文化振興プランの策定や劇場運営等のアドバイスを実施します。

Ⅲ 愛知芸術文化センターの管理・運営

1 芸術劇場及びアートスペース

愛知県芸術劇場各ホール、各リハーサル室の利用許可や利用打ち合わせ、技術面・安全面・運営面でのサポートなど、公演当日まできめ細やかなサービスを行い、県民の皆様が多彩で質の高い舞台芸術公演を鑑賞する場や創造活動をする場を提供します。

また、その運営にあたっては、観客及び劇場利用者の方々へのホスピタリティ向上に努めます。

芸文センター12階及び地下2階のアートスペースについても、利用許可及び利用当日のサポート等を行います。様々な芸術文化活動の表現・交流の場として快適に利用していただけるよう努めます。

加えて、芸術劇場及びアートスペースの利用サービス向上を図るため、附属設備及び延長利用料金の後納やキャッシュレス決済の活用、申請手続き及び利用条件の緩和などを推進します。

愛知県芸術劇場	アートスペース
大ホール (2,480 席) コンサートホール (1,800 席) 小ホール (330 席 (最大)) 大リハーサル室 中リハーサル室	A室～E・F室 (会議室利用) G室～I (X)室 (展示室利用)

2 アートプラザ

芸文センター地下2階のアートプラザにおいて、県内外の公演や展覧会等の情報を収集し、来館者に提供します。年齢に関わらず気軽に立ち寄っていただけるよう、丁寧なコミュニケーションに努めます。

3 愛知芸術文化センター全体

(1) 施設管理

施設の保守・維持管理については、事故の未然防止が最大の安全対策であるという考え方のもと、職員や委託業者による日常点検や各種設備の保守点検を計画的に行います。芸文センター全体の警備や清掃、空調管理など、安全かつ快適な場所を提供するために必要な業務についても、委託業者と連携を密にしながら適切に実施し、利用者からのご要望にも丁寧に対応します。

(2) 防火・防災

防火・防災体制については、消防法をはじめとする関係法令を遵守するとともに、防災プロジェクトチームによる組織横断的な活動を継続します。併せて、名古屋市の「伏見・栄地区都市再生安全確保計画」において、芸文センターが「一時退避場所及び退避施設」として登録されていることから、「退避施設開設・運営マニュアル」に基づき発災時に速やかに開設・運用できるよう職員の災害対応に係る意識、能力の継続的な向上を図ることで、芸文センターの防火・防災対策とともに、地域の防災活動の円滑化にも貢献できるよう努めてまいります。

(3) 芸文センターの活性化

「愛知県芸術劇場オープンハウス」や共有スペースでのパフォーマンスなど、芸文センターのにぎわいを創出する事業を展開し、芸文センターの利用促進につなげてまいります。また、地下連絡通路など共有スペースへの壁面広告の掲出や、芸文センター地下2階のフォーラムにフォトスポットとしてパイプオルガン模型を設置すること等により、芸文センターの活性化を図ってまいります。

IV 収益事業

公益事業に資するため、複合施設の特徴を活かした収益事業を行います。

1 ミュージアムショップ（芸文センター10階）

美術館企画展やコレクション展の内容に合わせ、図録・絵はがき・オリジナルグッズ等の販売を行います。

2 プレイガイド

芸文センター地下2階アートプラザ内に設置されているプレイガイドにおいて、愛知県芸術劇場の主催公演をはじめ、近隣の劇場・音楽堂等で行われる各種公演・美術展などのチケット販売を行います。

また、キャッシュレス決済を活用し、利便性の向上を図ります。